

授業科目の区分等：専門教育科目 経営学科 展開科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2年	2	選択
担当教員			
星野 裕明			
B (経営学科)	S (専門科目)	BA (経営)	206 (中級科目)

授業のねらい (概要)	経営情報システムの構築と管理の理解を中心に情報システムと情報技術の役割、要素技術の基本知識、システムの構築、経営とシステムのマネジメントについて、経営情報システムと情報管理の総論を学びます。既存の実システムや情報システムの計画から運用管理に至る広範な資料を用い理論と実際を学修します。ビジネスに直接関わるアップデートな内容で、経営情報管理論の初学者や中小企業診断士にかかる経営情報システムの科目の内容に準拠した学習を行います。
授業計画	<p>第1回 遠隔 情報社会と経営情報システム：情報化高度化デジタル化、経営情報システムの基盤 情報社会における企業経営と経営情報システムについて学習します。 予習 (時間)：シラバスを読む。高校「情報」の復習と教科書「経営情報システム」の第1章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：企業と情報システムの現状を調べ講義内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第2回 遠隔 企業活動と情報システム：意思決定と情報、企業の構造活動と情報システム 企業活動と情報システム、意思決定と情報について経営資源との関連で学習します。 予習 (時間)：高校「情報」の復習と教科書の第2章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：経営と情報システムの現状を調べ授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第3回 遠隔 情報技術の基盤：ハードウェア、情報通信ネットワーク、ソフトウェア、アプリケーション 情報システムと機械の関係からその基礎技術とインフラを学習します。 予習 (時間)：高校「情報」の復習と教科書の第3章と4章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：機械としての情報システムの総論を復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第4回 遠隔 新たな情報処理技術とその活用：インターネット、様々なネットワーク インターネットとネットワークの基礎、企業活動の内外を情報システムとの関係について学習します。 予習 (時間)：高校「情報」の復習と教科書の第4章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：ネットワークの現状を調べ授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第5回 ナレッジマネジメント：情報処理型組織と知識想像型組織、知識想像型パラダイム、経営情報システムが対象とする領域 情報システムとしての組織の形態を学習します。 予習 (時間)：教科書の第5章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：企業の情報処理型組織と知識想像型組織を重点に復習する。ノートを確認する。(120)</p> <p>第6回 サプライチェーンマネジメント (SCM) での情報技術と組織能力：SCM戦略と生産流通システムの類型化、情報技術と組織能力 サプライチェーンマネジメントと生産流通システムについて実システムを参考に学習します。 予習 (時間)：教科書の第6章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：生産流通システムを重点に復習する。ノートを確認する。(120)</p> <p>第7回 IT投資の効果とその測定：事前評価と事後評価、カテゴリー別評価、測定 構築と運用への予算化と効果について学習します。 予習 (時間)：教科書の第7章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：評価法の総論を復習する。ノートを確認する。(120)</p> <p>第8回 ビジネスプロセス：「プロセス」の考え方、ワークフローとプロセス管理、ビジネスプロセスモデリングと情報システム ビジネスプロセスとワークフローについて学習します。 予習 (時間)：教科書の第8章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：ワークフローとビジネス、情報システムを重点に復習する。ノートを確認する。(120)</p> <p>第9回 課題 インターネットビジネスの戦略とビジネスモデル：インターネットビジネス戦略立案のプロセス インターネットビジネスの戦略とビジネスモデルについて学習します。 予習 (時間)：教科書の第9章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：インターネットビジネスの現状を調べ授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第10回課題 消費者向けネットビジネスとインターネット・マーケティング：ネットビジネスでの企業と消費者、BtoCネットビジネス B2Cネットビジネスなどについて学習します。 予習 (時間)：教科書の第10章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：ネットビジネスとインターネットマーケティングの現状を調べ授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第11回 経営にかかる情報システム：経営情報システム、意思決定支援システム、戦略的情報システム 経営にかかる情報システムについて既存の実システムと比較し学習します。 予習 (時間)：教科書の第11章を読み疑問点を整理する。(120) 復習 (時間)：経営情報システムを調べ授業内容を基に復習。ノートを確認し整理する。(120)</p> <p>第12回 意思決定を支援する各種応用ソフトウェア：問題解決と意思決定、問題認識と情報活動、設計活動、選択活動、情報活用力 問題解決と意思決定、この活動と支援ソフトウェアについて学習します。 予習 (時間)：教科書の第12章を読み疑問点を整理する。(120)</p>

	<p>復習（時間）：応用ソフトウェアの動作確認を行い授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。（120）</p> <p>第13回課題 オフィス情報システム：ソフトウェア開発プロセス、オフィス情報システム、エンドユーザ・コンピューティング</p> <p>予習（時間）：教科書の第13章を読み疑問点を整理する。（120） オフィス情報システムについて既存の実システムを参考に学習します。</p> <p>復習（時間）：オフィス情報システムと学内情報システムを比較し授業内容を基に復習する。ノートを確認し整理する。（120）</p> <p>第14回 情報システムの計画から設計、開発：ソフトウェア開発プロセス、分析設計手法 情報システムの計画から開発までのプロセスなどを学習します。</p> <p>予習（時間）：教科書の第14章を読み疑問点を整理する。（120） 復習（時間）：情報システムの開発までの総論を授業内容を基に復習する。ノートを確認。（120）</p> <p>第15回 情報システムの運営と管理：企画開発と運営管理体制、品質保証とガバナンス、情報倫理 情報システムの開発後の運営と管理について学習します。</p> <p>予習（時間）：教科書の第15章を読み疑問点を整理する。（120） 復習（時間）：運営と管理、品質保証、ガバナンス、倫理を重点に復習する。ノートを確認し整理する。（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP(商学部)の2項目を意識した科目となっている。</p> <p>2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢</p> <p>3. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</p> <p>DP(経営学科)の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>2. 経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>DP(会計学科)の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>2. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人としての社会的責任を全うできる能力</p> <p>【身に付くスキル】 課題解決力・職業倫理感</p>
到達目標	<p>1. 企業が組織として管理する情報及び関連する要素技術について基礎的な知識と技能がある。</p> <p>2. 1.を情報システムとして運用する上での技術的、法的、倫理的課題についての基礎的な知識がある。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>授業時間内あるいはMellyでの文書で全体的な解説を行うとともに、必要に応じて個別への指示を行う。課題内容についての質問もMellyで受け付ける。</p>
履修上の注意	<p>急速に進展する情報通信技術の技術動向を注視しながら教科書と参考書での予習と復習を行ってください。他の資料や実物を用いて適時説明しますが、講義の中で質問をするよう留意してください。なお、講義中の写真撮影及び録音などの一切を禁止します。</p>
成績評価の方法・基準	<p>1, 定期試験50% 2, 課題20% 3, 学習意欲30%</p>
教科書	<p>経営情報システム&lt;第4版&gt; 中央経済社 ISBN-13:978-4502091704 定価2,800円（税抜）</p>
参考書・教材	<p>[参考書]最新ITを活用する経営情報論 ISBN 978-4-88696-031-3、経営の基礎から学ぶ経営情報システム教科書同文館出版 ISBN13:978-4495384111、入門ガイダンス経営情報システム 中央経済社 ISBN13:978-4502236815、経営情報学入門 ISBN13:9784595319518</p>
備考	<p>講義科目。2020年度は、第9, 10, 13回を課題研究として学修する。指示確認は第8, 12回で行う。</p> <p>第9回 当初シラバスの「授業時の講義内容」（予習と復習を含む）に合わせ学修し、関係資料の配信をmellyなどで行うとともに第8回の対面授業での作業指示に従い報告書を作成し提出する。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第10回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に合わせ学修し、第9回同様に実施する。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第13回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に合わせ学修し、関係資料の配信をmellyなどで行うとともに第12回の対面授業での作業指示に従い報告書を作成し提出する。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>なお、「成績評価の方法・基準」欄の「定期試験」は、本学の感染状況への対応等を踏まえ「CBT」か「最終レポート」で代替することがある。その際には可及的速やかにmelly及び授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に通知する。</p>
教員との連絡方法	<p>大学ドメインのメール、Mellyでの個別連絡を併用。Line、Gmail等は原則として使用しない。</p>